



2022年5月12日

各位

会社名 住友精密工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 高橋 秀彰  
 (コード番号: 6355 東証スタンダード)  
 問合せ先 管理部長 田中 敦  
 (TEL 06-6489-5816)

## 営業外収益（為替差益）及び繰延税金資産の計上並びに 通期連結業績予想と実績値との差異及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）におきまして、営業外収益（為替差益）及び繰延税金資産を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2022年2月10日公表の2022年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じ、個別業績につきましても前期実績値との差異が生じたので、それぞれお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益）の計上

2022年3月期第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）において為替差益269百万円を計上いたしましたが、為替相場の変動に伴い、2022年3月期第4四半期連結会計期間（2022年1月1日～2022年3月31日）では、為替差益243百万円を営業外収益に計上いたしました。

この結果、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）において為替差益513百万円を営業外収益に計上しております。

これは主に、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済および期末為替レートによる評価替えにより生じたものです。

#### 2. 繰延税金資産の計上

2022年3月期において、直近の業績動向を踏まえた将来の課税所得の見積りに基づき繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込まれる部分について繰延税金資産を計上いたしました。これに伴い、法人税等調整額△647百万円（△は利益）を計上しております。

#### 3. 2022年3月期通期業績予想と実績値との差異

##### (1) 2022年3月期通期連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,660	1,140	1,500	770	145.51
実績 (B)	43,801	1,887	2,571	2,312	437.02
増減額 (B - A)	△858	747	1,071	1,542	
増減率 (%)	△1.9%	65.6%	71.4%	200.3%	
(ご参考) 前期実績 2021年3月期	41,459	△500	△446	△2,576	△486.87

(2) 差異の理由

営業利益は、採算性の良い民間航空機向け補用品の販売増加、円安に伴う輸出品の採算性改善等により前回予想を上回りました。経常利益は、営業利益の増加に加え、営業外収益（為替差益）の計上により前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加に加え、将来の課税所得の見積りに基づき繰延税金資産を計上したこと等により、前回予想を上回りました。

4. 2022年3月期通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2022年3月期通期個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	34,975	△1,608	1,163	△393	△74.43
実績 (B)	30,362	676	1,602	1,602	302.76
増減額 (B - A)	△4,613	2,285	439	1,995	
増減率 (%)	△13.2%	-	37.8%	-	

(2) 差異の理由

売上高は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当期首から適用したことに伴い、MEMS・半導体製造装置の販売取引にかかる売上高および売上原価が純額処理となったこと等から、前期実績を下回りました。

一方、営業利益につきましては、採算性の良い民間航空機向け補用品の販売増加、円安に伴う輸出品の採算性改善等により前期実績を上回りました。経常損益は、連結子会社からの受取配当金が減少したこと等により、営業利益に比べ、経常利益の増加額が縮小しております。当期純利益は、不動産等の固定資産売却益の計上、並びに将来の課税所得の見積りに基づき繰延税金資産を計上したこと等により、前期実績を上回りました。

以 上